

歯と歯ぐきの健康	3件	回答数
歯ぐきの健康は身体のためにも大事。と改めてわかりました。		1
感染症対策も重要ですが、歯の健康を守ることも重要だと思っています		1
口の中のことはコロナ時期とは関係なく大事だと思います		1

フッ化物洗口	2件	回答数
核家族、共稼ぎ世帯が増えている中、親の育児負担も以前より増している。そんな中むし歯対策も各家庭にお任せしてもむし歯は減らないと思う。フッ化物洗口を小学校で推奨してほしい。		1
フッ素が体に悪いという情報もあるので、集団の場で洗口を推奨しないでほしい。個々の歯科受診のみで十分です。		1

歯ぎしり	1件	回答数
夜中、寝ている時、歯ぎしりする。以前はアゴが痛いと言っていた。歯医者では8歳頃には自然とよくなると聞いている		1

(3) 生徒本人アンケート

1. 調査設計等

- ①調査対象・標本数 市立中学校7校に在籍する中学1年生 855人（令和3年5月現在）
市立高等学校3校に在籍する高校3年生 784人（令和3年5月現在）

調査対象・有効回答数

	対象者数	有効回答数	有効回答率
中学1年生	855	739	86.4%
高校3年生	784	732	93.4%

《参考：平成28年度実績》

	対象者数	有効回答数	有効回答率
中学1年生	952	909	95.5%
高校3年生	782	736	94.1%

男女構成

	男子	男	女	不明	計
中学1年生		353	374	12	739
高校3年生		396	307	29	732

《参考：平成28年度実績》

	男子	女子	無回答	計
中学1年生	437	449	23	909
高校3年生	399	319	18	736

- ②調査項目「基本事項」間食の摂取状況 「歯みがき剤・補助的清掃用具の使用と使用法の指導」
「歯科医院での歯みがき指導、定期的な受診」 「永久歯のう蝕経験と受療」 「歯科疾患予防に関する知識・行動・価値観」 「歯の健康について気になること」等 ML

2. 調査結果について

「間食の回数」は中1，高3ともに「決まっていない」が最多であり，中1が48.0%，高3が53.7%であったが，前回調査と比較して，それぞれ14.3ポイント，22.1ポイント減少していた。

主な間食の内容は「スナック・ケーキ・アイス・甘味菓子類」，「アメ・ガム・グミ・チョコ類」が多く，中1，高3ともに前回調査より増加していた。また「飲み物」は「お茶類」が最多であるが「ジュース類」と回答した者は，中1で54.5%，高3で50.4%と，いずれも前回調査と比べて増加していた。「スポーツ飲料，ジュース，炭酸飲料，乳酸飲料」等を「毎日飲む」者は，中1で20.4%，高3で15.2%と，前回調査と比較して減少しており，1日あたりの摂取量も，350mL未満を選択する者が増加していた。また，1日に飲む甘味飲料の量を「350mL以上」と回答した者は，中1で40.7%，高3で37.7%であった。